

「豚糞」を堆肥化し農作物を“育てる力”に転換

日本クリーンファーム株式会社知床事業所（網走市）



日本クリーンファーム株式会社知床事業所

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 日本クリーンファーム株式会社知床事業所は、網走市において、年間約9万3千頭の肥育豚を出荷する大規模養豚事業を実施。
- ◆ 事業活動の中で必ず生じる糞尿は、環境への影響や処理コストが課題となる中、前身となる1983年設立の知床ファーム株式会社の時から、農作物を「育てる力」となる堆肥化に取り組み、近隣市町の農家へ還元。

【取り組む際に生じた課題等への対応】

- 高水分・高栄養の豚糞をどう扱うか
豚の糞尿は水分が多く、栄養成分も高濃度なため、そのままでは処理や農地への施用が困難。
⇒ 固液分離後の固形分を原料に、堆肥施設で発酵処理後、重機による切り返しを経て完熟堆肥を生産。
- 環境配慮と地域との対話
堆肥化時の臭気に対応するため、堆肥施設に脱臭装置を設置し、定期的な市による臭気測定を受けるだけでなく、近隣住民との話し合いの場にも参加し対話を実施。⇒ 近年、臭気等についての苦情はない。
- 出荷時期の平準化
生産される堆肥を農家へ販売しているが、その多くが秋に集中。⇒ 地域の農家の会合にも参加し、施肥時期やニーズを把握することで、秋以外の時期に出荷が増えるように模索している。



堆肥製造の様子



完成した堆肥

【組織等の概要】

- 会社名：日本クリーンファーム株式会社
- 本社所在地：青森県上北郡おいらせ町
- 代表取締役社長：友野 敦
- 設立年：1983年
- 主な事業内容：
豚の繁殖と肥育、肥料の製造及び販売等
- 事業所：知床事業所、道南事業所、東北事業所、九州事業所
- HP URL：<https://www.nipponcleanfarm.co.jp/>

【取組の成果】

- 廃棄物の資源化
豚糞を活用し、堆肥を製造。製造する全量（年間約4千トン）を農家へ販売することにより、廃棄せず資源化している。
- 斜網地域における貴重な有機質肥料
知床事業所が所在するオホーツク斜網地域は、てん菜、ばれいしょ、麦類中心の畑作が盛んな一方、酪農・畜産経営が少ない地域。そのため貴重な有機質肥料の供給元となっている。
- 農家からの信頼とリピート
主に網走市、大空町、美幌町の農家に販売。利用した農家からは「作物の生育がいい」と好評で、リピーターが定着。また、肥料設計に活用できるよう、堆肥の成分分析データを提供。

〈参考〉オホーツク地域における農業産出額の特化係数

資料：農林水産省「令和5年 市町村別農業産出額(推計)」から品目抜粋

	工業農作物 (てん菜)	いも類	麦類	豆類	肉用牛	乳用牛	豚
斜網地域	1.78	1.89	1.67	1.59	0.86	0.47	1.99
北見地域	0.63	0.60	0.70	0.99	0.22	0.55	0.28
遠紋地域	0.17	0.04	0.27	0.11	1.99	2.26	0.20

特化係数は、オホーツク地域全体の農業産出額に占める各品目の農業産出額の割合と、各地域(斜網、北見、遠紋)での割合との対比で、農業産出額の割合の平均を基準(=1)とした場合

1より大きい：当該品目の農業産出額の割合が、オホーツク地域全体に比べて高いことを示す。

1より小さい：その割合が低いことを示す。



【今後の展望】

これまで臭気対策などに取り組んできたが、今まで以上に臭気を抑えられるよう改善し、今後も、地域とのつながり、環境への配慮を大切にしながら、地域の中での資源循環に取り組んでいきたい。